

平成19年度「鉄道の日」国土交通大臣表彰について

平成19年10月11日

平成19年度の国土交通大臣表彰を、弊社、役員及び社員が受賞することになりましたので、お知らせいたします。

1. 受賞事由及び対象

(1) 日本鉄道賞選考委員会特別賞

事由：「鉄道に対する国民の理解と関心」をさらに深めるとともに、鉄道の今後一層の発展を期することを目的として、平成14年に創設されたもので、鉄道の発達に貢献のあった鉄道事業者や団体を表彰するもの。

対象：「紙と経験と人間による調整力」から「システムによる自動化」へ
IT FREN&TRACE システムの導入

(2) 鉄道事業功労表彰（1名）

事由：鉄道事業の経営責任者で、その功績が顕著であって、常務取締役以上で年齢55歳以上の者。ただし、地方運輸局長表彰を受賞したものに
限る。

対象者 田村 修二（59歳） 代表取締役副社長

(3) 永年勤続功労表彰（5名）

事由：永年、鉄道事業の現業部門の業務に従事し、その勤務成績が優秀であって、年齢が53歳以上の者。ただし、地方運輸局長表彰を受賞した者に
限る。

| | | | |
|-----|------------|-------|--------|
| 対象者 | 鈴木 進（57歳） | 北海道支社 | 鷲別機関区 |
| | 榎谷 崇（60歳） | 東北支社 | 青森営業支店 |
| | 早野 茂行（55歳） | 東海支社 | 稲沢駅 |
| | 久保井敏雄（55歳） | 関西支社 | 広島車両所 |
| | 唐崎 憲雄（58歳） | 九州支社 | 門司機関区 |

2. 表彰式（「鉄道の日」記念式典）

(1) 日 時 10月15日（月） 17時30分から

(2) 場 所 ハイアットリージェンシー東京

「IT-FRENS & TRACE システム」の概要

5年間に要し、総投資額約70億円を投じて開発。平成18年度から本格稼働。国鉄時代を通じ40年以上にわたる「コンテナ取扱業務」の構造的変革（人海戦術からシステム制御へ）。これらにより年間20億円の経費削減効果。

(1) 「紙と経験と人による調整」から「システムによる自動化」へ

- ① 長年の懸案であった「荷票」の廃止 ⇒ 駅作業効率化、触車事故根絶
- ② 画期的な自動輸送枠調整機能の導入 ⇒ 売れ筋列車の供給枠拡大
閑散列車の積載率向上
土日輸送力の有効活用
- ③ 貨車へのコンテナ積載確認の自動化 ⇒ 駅作業の効率化

(2) 鉄道貨物輸送の弱点であったコンテナ所在管理の実現

- ① 「無線ICタグ」と「高精度GPS」を組合せたシステム構成
⇒ 駅構内のコンテナ位置情報と積卸し
情報を一元管理
- ② 駅構内での「コンテナ探し」作業の廃止 ⇒ 駅作業効率化、触車事故根絶

(3) フォワーダー（鉄道利用運送事業者）の効率化にも寄与

- ① 輸送枠予約作業の省力化 ⇒ 最適輸送列車をシステムが自動選択
- ② 「ドライバーシステム」による集配トラックの運行管理支援
⇒ ドライバー用IDカード1枚で完結
- ③ 通運事務所の集約化 ⇒ 複数駅でのオペレーションの集約

IT-FRENS & TRACE システムに対する評価

- (1) 物流業界 鉄道、物流、ITを融合させた画期的システムとして注目を集めています。
- (2) 海外 貨物鉄道近代化を目指す諸外国の鉄道からも注目を集め、インド鉄道省、ロシア鉄道、韓国鉄道公社等から視察を受けました。